



1月4日 みかんの丘くるりんバス出発式



1月22日から24日 産業技術総合研究所  
福島再生可能エネルギー研究所調査  
内堀雅雄 福島県知事と共に



2月21日 海上自衛隊艦艇「いずも」蒲郡港入港歓迎式典



1月7日 愛知県ホテル・旅館衛生同業組合 新年会



1月25日 第39回農林水産祭り



2月24日 「ソッキ」撮影打ち上げ懇親会  
蒲都市出身の漫画家大橋裕之氏と共に



1月12日 蒲都市消防団 出初め式



2月1日 花月流家元 早瀬恵雲氏 襲名披露式典



2月27日 大塚中学校 ロータリー表彰・同窓会入会式



1月15日 蒲郡商工会議所 新年交礼会



2月9日 第36回三河湾健康マラソン



6月7日 蒲郡温室みかんPR  
自民党県議団 原団長・寺西幹事長・佐藤総務会長  
中根政調会長

編集後記

コロナ禍の中、県民の皆様にも「新しい生活様式」に向けて、感染しないようマスクや消毒等に気をつけていただき、一日も早くワクチンができて、終息に向かうことを祈ります。これからも県民の皆様への負託に応えるべく、県政かわら版を通して情報をお伝えしてまいります。ぜひブログをご覧ください、ご意見ご要望をぜひお聞かせいただければ幸いです。また、蒲形公園西（緑町5-19）に事務所を開いています。お気軽にお立ち寄りください。

ひだ常年事務所

〒443-0048 蒲都市緑町5-19  
TEL. 0533-68-1288  
FAX. 0533-68-1286

E-mail. joenen@sk.aitai.ne.jp URL. http://hidatsunetoshi.com



蒲郡の声を県政へ  
県政をもっと身近に

愛知県議会議員 自由民主党蒲都市支部長

ひだ常年の  
県政かわら版



Ⅲ-3号  
VOL.19

発行人  
飛田 常年  
住 所  
蒲都市緑町5-19  
TEL  
0533-68-1288  
FAX  
0533-68-1286  
E-mail  
joenen@sk.aitai.ne.jp  
URL  
http://hidatsunetoshi.com



6月7日 県議会神戸洋美議長・青山省三副議長へ蒲郡温室みかんPR

蒲郡商工会議所 新年交礼会

1月15日 蒲郡商工会議所新年公礼会

新型コロナウイルスの感染症収束に向けて

大暑の候 皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。  
日頃より「飛田常年」の議員活動に際しまして、温かいご支援ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染症が全国的になかなか収束に向かいません。蒲都市においては最初に感染者がでて以来、大きくは拡大していません。市民の皆様のご努力によるものと感謝申し上げます。これ以上拡大しないことを祈ります。また、最前線で治療に当たっておられる医療従事者等の関係者の皆様には敬意と感謝を申し上げます。

愛知県としましても新型コロナ感染症対策費として6月までに合計736億円の補正予算を組み、他に債務負担行為555億円を計上しました。できる限りの支援をお約束いたします。

また、7月には九州地方をはじめ全国各地でおきた豪雨も大きな被害がありました。一日も早い復旧復興を願うばかりであります。豪雨対策ばかりでなく台風やいつ発災するか分からない南海トラフの巨大地震等の自然災害への備えも併せてお願いいたします。

これからも、愛知県政発展並びに県民福祉の向上のため頑張って参りますので、皆様方の変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

令和2年度 役職

- ◆常任委員会
  - ・建設委員会 委員
- ◆特別委員会
  - ・行財政改革・地方創生調査特別委員会 委員
- ◆自民党議員団役職
  - ・教育治安調査会 副会長
- ◆自民党県議団議員連盟役職 (令和元年度～令和4年度)
  - ・観光議員連盟 副会長
  - ・水産振興議員連盟 副会長
  - ・農政議員連盟 幹事兼事務局長
  - ・次世代産業振興議員連盟 幹事兼モづくり副副会長
  - ・県土整備促進議員連盟 幹事兼道路副副会長
  - ・消防・地震防災議員連盟 幹事
  - ・看護議員連盟 幹事
  - ・他 15 議員連盟 委員
  - ・議員団に参画する自由民主党愛知県議団の会 幹事
- ◆自民党愛知県連政務調査会 委員

# 蒲郡警察署 新庁舎完成

## 安心安全の拠点5月11日より業務開始

- 旧庁舎1968年建設以来52年を経て、新築された
- 鉄骨鉄筋コンクリート造りで6階建延3,887.63㎡
- 旧庁舎の約2.3倍の広さで請負代金額9億9,252万円

- 液状化対策** 上層が軟弱地盤で有ることから、締め固砂杭工法（砂を圧入して、周辺地盤の密度を増加させる工法）による砂杭（7.6m×770本）で液状化を防止
- 浸水対策** 旧庁舎に比べ1階床高50cmかさ上げし、1階にあった通信室と留置所上層階へ
- 落合川の遡上対策** 新設する車庫等と落合川の間に、全長135m、高さ2m、厚さ19cmのRC擁壁を設置
- 基礎杭** 9~18m 25本（鉄管コンクリート杭+コンクリート杭）
- 駐車場関係** 来庁者駐車場は署の正面（南側）と東側の2箇所で8台から39台へ利便性の向上



# 令和2年2月定例愛知県議会 私の議案質疑

## SDGs未来都市計画推進費について

Q1. SDGsは、2015年の国連サミットにおいて、全会一致で採択された持続可能な開発目標であり、すべての国連加盟国に、2030年の世界のあるべき姿の実現に向けて、「貧困をなくそう」を始め17の目標の達成と経済面、社会面、環境面の統合的な取組が求められている。



SDGs カラーホイール

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs 持続可能な17の開発目標

定し、現在、計画に沿って、全庁一丸となった取組を進めていると伺っている。

また、県内でSDGs未来都市に選定された名古屋市、豊橋市、豊田市においても地域の特性を踏まえた取組が進められており、私は今後、本県やこれら3市における取組が県内のさらに多くの市町村に広がっていくことを期待している。

このように国や各自治体がそれぞれ取組を進めていくことは、当然必要であるが、SDGsの17の目標を達成するためには、行政だけではなく、企業、団体、そして県民一人ひとりがSDGsの重要性について十分認識していただき、様々な課題に対して主体的に行動していただくことが大変重要であると考えている。

しかしながら、昨年7月に本県が実施した県政世論調査の結果によると、「SDGsという言葉聞いたことがある」という回答は、全体の25%にとどまり、このうち「聞いたことがあり、内容もよく知っている」という回答は、わずか2.5%となっている。SDGsが採択されてから、約4年経過した現在でも、県民のSDGsの認知度はまだまだ低いというのが現状である。

そこで、SDGsの県民への普及啓発のため、政策企画局として、これまでどのような事業を行ってきたのか、また、来年度はどのような事業を進めていくのか、伺う。

[政策企画局長答弁]

A. SDGsの普及啓発については、政策企画局において今年度、SDGsに関するセミナーやワークショップの開催、県民向けガイドブックの作成などを行っている。セミナーでは、この地域のSDGs推進の第一線で活躍されている方々から、SDGsの内容や活動について具体的に説明いただき、ワークショップでは、SDGsを楽しみながら学ぶことができる体験型のカードゲームを実施して、それぞれ参加者から好評をいただいている。

さらに、県民向けガイドブックについては、SDGsの17のゴールを身近なキーワードや自分たちとの関わりなどで整理するなど、わかりやすい内容で作成し、3月中に県内に広く配布する予定である。

来年度については、次代を担う中学生向けのパンフレットを作成し、県内の中学1年生全員に配付する。また、SDGsの解説と、本県や県内企業等の取組などの各種情報をわかりやすくまとめたウェブページを作成するなど、県民の皆様のSDGsへの理解と具体的な行動を促していく。

# 令和2年6月定例愛知県議会 建設委員会 私の一般質問

## 名豊道路の進捗状況等について伺う。

Q1. 名豊道路は、名古屋、豊橋間を結ぶ延長7.3kmの高規格道路である。また、三河港等の港湾物流を担い、本県のモノづくりを支える大変重要な東西軸の道路である。現在、蒲郡バイパス東部区間の蒲郡ICから豊川為当ICの約9.1kmは、名豊道路のミッシングリンクとなっている。今年度は、昨年度を上回る予算が付き、工事が大いに進み早期完成が図られるものと期待しているが、進捗状況について伺う。

A. [道路建設課長] 名豊道路蒲郡バイパスの土地収用法に基づき手続きを進めていた用地2件は、昨年度末までに取得し、現在は工事を全面展開している。主な工事内容は、トンネル3本、橋梁15橋の施工となっており、その他に大規模な切土、盛土による道路築造工事がある。トンネルについては、昨年8月の豊沢トンネルの貫通により、3本全てが貫通し、今年度より、舗装工事に着手する予定である。橋梁15橋については、下部工全70基の内、約半数にあたる33基が完成しており、現在施工中が15基、今年度は20基の発注を予定している。また、上部工は、全15橋の内、1橋が完成し、現在施工中が2橋、今年度は4橋の発注を予定している。

Q2. 県で事業を進める名豊道路蒲郡バイパス（仮称）金野インターチェンジへのアクセス道路となる一般県道豊川蒲郡線の進捗状況について、アクセス道路のバイパス部が工事用道路になると聞いているが、現在の豊川蒲郡線の進捗状況について伺う。

A. [道路建設課長] 県において整備中の県道豊川蒲郡線については、現道幅の約0.3kmの区間とバイパス整備の約1.6kmの区間及び、現道と名豊道路（仮称）金野インターチェンジとをアクセスする約0.2kmの区間からなる。用地については、昨年度までにほぼ完了している。現道幅区間については、現道の交通を確保しながら、順次、道路の拡幅工事を進めている。バイパス区間については、まずは施工に時間のかかる2つの橋梁工事を進めている。この内、西側の現道に隣接する1橋は、昨年度上部工が完了しており、現在は取付部の道路築造工事

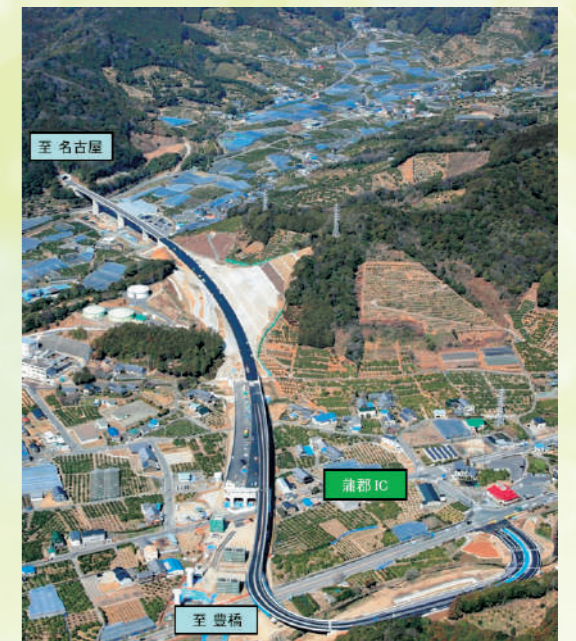


国版トンネルから御津町方面を望む

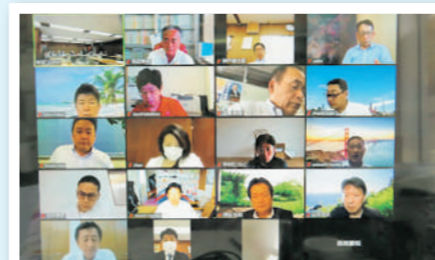
を進めている。完成したい、年内には名豊道路の工事用道路として活用されることとなっている。また、残る1橋については、今年度下部工に着手する予定である。インターチェンジとのアクセス区間については、昨年度より橋梁の下部工事を進めており、今年度、残る1基を発注する等、工事の進捗を図る予定である。

Q3. 地元の臨海部の企業等も、名豊道路による生産性の向上等について、大いに期待しているが、名豊道路蒲郡バイパスの早期全線開通に向け、もうあと少しというところであり、県としてどのように取り組むか伺う。

A. [道路建設課長] 名豊道路蒲郡バイパス周辺では、今後の開通を見据え、工業団地が造成されるなど開発が進んでおり、新たな雇用が創出されている。蒲郡バイパスの開通により、名豊道路の全線がつながることで、三河港をはじめとする物流拠点と生産拠点が結ばれ、物流の効率化や生産性の向上、さらなる企業立地の促進が図られる等もものづくり愛知を支える幹線軸として、大いに期待されている。そのため、県としても、蒲郡バイパスの開通見通しの早期公表と早期の全線開通に向けて、引き続き、地元自治体や経済界と一緒に、国に対し強く働きかけていく。また、名豊道路のアクセス道路となる県道豊川蒲郡線については、蒲郡バイパスと合わせて開通できるよう、国と工事調整を図りながら、しっかりと整備を進めていく。



## 新型コロナウイルス対策に対する会議・要望



6月7日 新型コロナウイルス感染症対策ウエブ会議  
新型コロナウイルス対策チーム会議の委員として14選挙区の各区市町村の県・国要望をまとめて県連へ提出しました



6月18日 愛知県煙火組合知事要望  
大村知事へ自粛解除後の地域イベントを推進していただくよう要望をいたしました



6月18日 愛知県煙火組合知事要望  
役員の方々と知事へ地元県議と共に嘆願書を手渡ししました